

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

特別展 ひつぎのヒミツ ―棺(ひつぎ)から読み解く古墳時代―

今から約1700年前、日本では有力者たちが権威を示す手段として「古墳」を築く文化が広まり、山梨でも東日本最大級の前方後円墳である甲斐銚子塚古墳をはじめ、数多くの古墳が築かれました。本展では、古墳出土品の中でも特に「棺」にスポットを当て、全国各地で見つかった国宝・重要文化財を含む貴重な副葬品とともに、この時代の人々の死生観・来世観の変遷をご紹介します。

開催期間／10月4日(水)～11月23日(木・祝)
観覧料／一般・大学生600円 団体(20名以上)480円



陶棺 井之上古墳(笛吹市)
國學院大學博物館蔵(6世紀末)



金銅装獅咬環頭大刀(重要文化財)
金鈴塚古墳(木更津市)
木更津市郷土博物館金のすず蔵(6世紀末～7世紀)

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151 FAX 055-240-0168

第19回ライトダウンやまなし2017 ―星の海をわたって―

「街の明かりを消してきれいな星空を取り戻そう」と、開催してきた『ライトダウン甲府バレー』は、2014年から『ライトダウンやまなし』と名称を変更し、全県的な取り組みとして実施しています。

メイン会場の県立科学館では、今年もプラネタリウム投影や星空コンサート、ライトダウンワークショップ「ガラス絵の具で星をつくろう」などを行います。

開催日時／11月11日(土)午後6時～9時(消灯時間:午後8時～9時)
参加料／無料
※10月7日(土)・8日(日)には、イベントとして、ラザウォーク甲斐双葉にて移動プラネタリウムやワークショップなどを実施します。



富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-0259
FAX 0555-72-0211

世界遺産富士山講座

当センターでは、世界遺産富士山の歴史・文化・自然について調査や研究などを行い、その成果を新たな富士山の魅力として紹介しています。10月は「富士山レンジャーと環境問題」、11月は「現地で学ぶ構成資産 河口浅間神社」をテーマに開催します。



昨年度の講座の様子

開催日時／10月21日(土)、11月18日(土)
参加料／無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6203
FAX 0555-72-6183

企画展 けんまるびの森

当研究所は、約千年前に流れた溶岩流の上に来た剣丸尾の森の中にあります。今回の企画展では、不思議な森に生息する動植物をパネルで紹介。また、クイズラリーやスタンプコーナーなどもあり、周辺の自然について楽しく学ぶことができます。



冬じたく ニホンリス
(写真提供 動物写真家・中川雄三)

開催期間／～11月12日(日)
観覧料／無料

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

特別展

ヴラマンク展 —絵画と言葉で紡ぐ人生—

20世紀のフランスで活躍したモーリス・ド・ヴラマンクは、激しい色彩表現を特徴とする「野獣派(フォーヴィスム)」の巨匠として知られ、里見勝蔵ら日本人画家にも大きな影響を与えました。本展では、フランス、スイスで所蔵される作品を中心とした約80点を展示し、その画業をたどります。また、画家のみならず、文筆家としての旺盛な表現活動も紹介し、絵画と言葉によって紡がれた、孤高の芸術家人生を探ります。



《サイロ》1950年 油彩・カンヴァス(フランス、個人蔵)
図版: ©ADAGP



モーリス・ド・ヴラマンク(1876-1958)

開催期間／～10月22日(日)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展 甲府徳川家

—六代将軍家宣を生んだ知られざる名門—

江戸幕府六代将軍・徳川家宣^{いえのぶ}は、かつて、甲府城を中心に甲斐・信濃などの諸国に所領を与えられていたことから「甲府徳川家」と呼ばれていました。家宣の下で幕政を主導した儒学者・新井白石や、和算の大成者として知られる関孝和も、もとは甲府徳川家に仕えていました。ほかにも多くの甲府藩士らが江戸幕府の勘定方を務めるなど、まさに天下を動かす存在だったのです。本展では、知られざる甲府徳川家と甲府藩の人々、そして彼らが生きた時代や社会の具体像を紹介します。



徳川家宣画像(奈良 長谷寺蔵)



徳川家継画像(奈良 長谷寺蔵)

開催期間／10月7日(土)～12月4日(月)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

企画展

津島佑子展 —いのちの声をさかのぼる—

津島佑子(1947～2016)の業績と、作品世界をたどる初の展覧会。津島修治(筆名・太宰治)と美知子の次女として生まれ、白百合女子大学在学中より作品を発表。女性の内面世界に迫る初期作品を経て、戦争孤児や少数民族、差別、原発の問題へとテーマを広げていきました。代表作「火の山—山猿記」では、甲州を舞台に母の生家・石原家をモデルとし、三代にわたる一族と時代を壮大なスケールで描きました。



津島佑子「火の山—山猿記」原稿(山梨県立文学館蔵)



津島佑子(東京生まれ 本名・里子)
(写真提供 毎日新聞社)

開催期間／～11月23日(木・祝)
観覧料／一般600円 大学生400円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。